

地域プログラムの手引き

少子高齢化や核家族化等により、地域のつながりが希薄になるとともに、地域の中で子育てのノウハウが受け継がれる機会が失われつつあるなど、地域の教育力の低下が指摘されています。

そこで、地域全体で子育てを支援したり、子どもたちを育てたりしていくことについて考えてみましょう。

地域の表1 プログラム使用の流れ（みんなで寄せ書き 子育て支援の輪を広げよう！）

時間	活動	留意点
5分	1 4～8人程度のグループに分かれて、エピソードをそれぞれ読んでみましょう。	
10分	2 エピソードを参考に、自分自身が少し困っている悩みやモヤモヤした気持ちを書いてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○あまり深刻な悩みは書かない方がいいでしょう。 ○モヤモヤしていることや、嫌な気持ちになった時のことを書いてみましょう。 ○それほど詳しく書く必要はありません。
15分	3 グループワークで考えましょう。 1) 自分の悩みにグループのメンバーからコメントをもらいましょう。 2) 別のメンバーから紙を受け取り、それにあなたなりのねぎらいの言葉、励ましの言葉を簡潔に書きこみましょう。 3) これをグループ全体で回していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ○今の目的は、困りごとを完全に解決することではありません。 1) ねぎらい、ねぎらってもらう体験は、あなたをどんな気持ちにさせるでしょうか。 2) 「あなたにも責任がある！」などの、相手を責めるようなコメントは避けましょう。 3) 相手の立場に立って、相手が少し元気になるようなコメントを考えてみましょう。
15分	4 受け取ったコメントを見て、どんな気持ちになるかを感じてみましょう。 また、受け取ったコメントについて、グループのメンバーと話し合ってみましょう。 心に残ったコメントを選んで、自分の感想をメンバーに伝えましょう。	○その時に感じた気持ちを素直に表現しましょう。
15分	5 グループの中で話し合ったことを、他のグループにもわかるよう発表してみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれのグループで出た話し合いの内容を紹介し合ひましょう。 ○他のグループの発表を聞き、より多くの意見をみんなで共有しましょう。可能な限り、様々な意見に対してオープンでありましょう。





地域の表2 プログラム使用の流れ（みんなで考えてみよう！ 地域の子どもは地域で育てる）

時間	活動	留意点
5分	1 4人程度のグループに分かれて、各自、エピソードを黙読してみましょう。	○6人以上になると、難しいので、最初は4人程度になるようにします。
10分	2 エピソードをもとに、あなたが選びたいと思う2人を選んでください。 また、その理由を自分なりに考えます。	○自分の考えを大切に選ぶようにしましょう。選んだ2人に「正解」はありません。
5分	3 選んだ2人を表に書きこんでみます。 また、グループのメンバーが選んだ2人も表に記していきます。	○表の書き方は、例を参考にしましょう。
20分	4 ここで、グループの意見としての2名を選んでもらいます。 おそらく、お互いに様々な理由で、2名を出してもらったので、意見を調整する必要があります。	○2名を決める際のルールを伝えます。 1) 多数決で決めないこと。 2) 必ず、自分の意見や選んだ理由を表現すること。 そして、メンバーの意見にじっくり耳を傾けること。 (メンバーが意見を述べているときは、自分の意見を言わない) 3) よい意見があったら、自分の選んだ人を変えてもよい。 4) それでも簡単には自分の意見を譲らないこと。
15分	5 グループの中で話し合って決めた2人と、その2人を決めるにいたっての話し合いの流れを発表してみましょう。	○自分の価値観と人の価値観は違いますが、折り合いながら、グループとしての意見をもつことができることを感じましょう。 ○他のグループの意見を聞くことで、自分のグループにはなかった意見がないか確認し、考え方や感じ方の幅を広げましょう。

表の書き方（例）

参加者／選ぶ講師	商店従業員A	会社員B	自営業C	主婦D	農業E
例) 富山さん		○			○
高岡さん			○		○